

“その人らしく”を支える

ACP

～明日からの実践にむけて～

自分らしい生活を続けるために必要なACP。実践には支援者側のスキルも必要と言われています。

本人の意思決定する力の評価、専門職として予後予測を踏まえた上での選択肢の提示について、倫理的視点や法的な知識等、実践の場面で必要なことについて学びませんか。

2026年 1月 29日(木)
18:00～19:00 (17:30～受付)

* 定員:先着500名

* 申込期間:2025/11/21～2026/1/9

* 実施方法:オンライン(ZOOM)

* 受講料:無料

* 対象者:医療・介護関係者等

講師:浜野淳医師
(筑波大学 医学医療系 准教授)



申し込みはこちら ↗



2002年に筑波大学医学専門学群を卒業。2006年に笛川医学医療研究財団の豪州地域緩和ケア研修後、2007年から大和クリニック(茨木県)で院長を務めた。2013年より筑波大学医学医療系講師としてご活躍され、2025年からは准教授として、医学生・若手総合診療医への教育を行う。

プライマリ・ケアにおけるEnd of lifeケアの在り方や教育などの研究を行いながら、人生会議に関する講演を各地で行うなど、多岐にわたって活動されている。

主催:県央ネットやまなし 在宅医療・介護連携分科会

(甲府市・韮崎市・南アルプス市・甲斐市・笛吹市・北杜市・山梨市・甲州市・中央市・昭和町・市川三郷町・富士川町)

問い合わせ:055-237-5484 (甲府市役所 地域包括支援課)